



ここにひまわりを...  
たね 第61号  
ひまわり

社会福祉法人 ひまわり 広報部発行 杵築市 ひまわり 検索  
0978-52-2233 0978-66-5500 http://www.wel-himawari.net

社会福祉法人ひまわり理念  
・利用者の尊厳を守り、敬愛の精神で接すること  
・地域福祉の拠点となり、開かれた施設として地域に貢献

基本方針  
・利用者があるがままの姿を受け入れ、見守り、優しく安らぎのある施設にします  
・利用者の意思を尊重し、利用者の立場で考え、安全で平等な援助に努めます  
・地域の関係機関と連携し、地域福祉の推進と向上を目指します  
・社会で通用する接遇を修得し、利用者にも明るく（気持ちの良い）態度で接します  
・日々向上心を持って、専門機能の研鑽に努めます

訪問看護通信

きつき訪問看護ステーション

**家庭でできる食中毒予防のポイント**  
家庭内で発生する食中毒は発症する人数が一人、二人の場合が多く風邪や寝冷えと思われがちで、わからないまま重症になり、死亡する例もあります。  
そこで食中毒予防のポイントをお知らせします。

**食品の購入**  
新鮮な物、消費期限を確認して購入する  
家庭での保存  
持ち帰ったらずぐに冷蔵庫や冷凍庫で保存する  
下準備  
手を洗う、きれいな調理器具を使う等  
調理  
手を洗う、十分に加熱する等  
食事  
手を洗う、室温に長く放置しない等  
残った食品  
きれいな器具容器で保存する、再加熱する等  
また、食品をより安全にするポイントとして清潔に保つ事や生の食品と加熱済み食品とを分ける事、よく加熱する事、安全な温度に保つ事、安全な水と原材料を使う事があげられます。

和 菰 頁 日 記

以前、訪問した先の方から「ソーシャルワーカー ちゃ何かえ？」と聞かれたことがあります。その時は「福祉の相談員です」と答えましたが改めて考えると「ソーシャルワーカー」とは何だろうという疑問が沸き、先輩のソーシャルワーカーに「ソーシャルワーカーって何ですかね？」と伺ったところ「福祉のお助けマン」という回答をもらい、確かにそうだと思いました。

ソーシャルワーカーが担い関わる範囲は多岐にわたります。「なんでも屋」的な捉えられ方が多いのは事実ですが、私自身はそれが良いと思っています。何故なら、人の「困っている事」は百人百様ですので一概に焦点を絞れないのは当然だからです。

仕事内容は所謂「つなぎ屋」です。無料の観光案内所をイメージしていただくと良いと思います。相談者の「何に困っていて、どうすれば良いのか」を明確にし、相談内容に対して、「必要なもの」や「必要なこと」、「必要な人」を把握しそれらを結び付ける案内人なのです。

そしてソーシャルワーカーの人柄は「お節介焼き」が多いのです。相手が望まずとも心を開いてくれるまで関わり続け、そこからまたどこかへつなぎ、解決への糸口を導き出します。地道で地味な仕事に思えますが、大切な仕事と思っ取り組んでおります。「ソーシャルワーカー ちゃ何かえ？」「お節介な、つなぎ屋です。」今ならそう答えるかも・・・と思う今日この頃です。

(今宮)

大田福祉祭り終了

5月12日に第三回大田福祉祭りが開催されました。昨年は雨天の為中止となりましたが、今年は雲ひとつ無い晴天で気持ちのよい一日となりました。地元大田を拠点に活躍する「陣太鼓OTA」の迫力ある太鼓の音で幕を開け、その後、安岐町を中心に活動を行う「六郷鬼龍太鼓」の華麗な神楽で会場のボルテージは一気にヒートアップし、「横岳夢のぼり蕎麦の早食い大会」では早食いを競う競技であるのにも関わらず、その蕎麦の美味しさに参加者も早食いをためらい、味わって食べてしまいました。競技にならず、笑いを誘いました。デジタルカメラやカラープリンター等豪華景品が当たるビンゴ大会では「リーチー!」「ピンゴ!」といった元気な声が場内に響き渡り、見事商品が当たった参加者は大変喜ばれていました。最後は恒例の大分プロレスAMWの提供試合で会場は大盛り上がりで幕を閉じました。今回は杵築市内から7つの介護事業所の利用者様方が来場され約200名の来場がありました。来場された皆様、ご協力いただいた皆様、どうもありがとうございました。



大田福祉祭りで集まったバザー売上金と募金の計¥21,464円を日本赤十字社を通じ東日本大震災の被災地に募金しました。

ひまわり合同勉強会のお知らせ

社会福祉法人ひまわりでは今年も「介護福祉士」「介護支援専門員」の資格取得に向けた自主勉強会を開催しております。介護・福祉職に就かれている方ならどなたでも参加自由です。皆様の参加をお待ちしております。

- 介護福祉士勉強会
- 8 / 24 より 毎週金曜日 19:00
  - 8 / 24 より 総合ケアセンターひまわり
  - 8 / 24 より 毎週金曜日 19:00
  - 特別養護老人ホーム 瑞雲荘
- 介護支援専門員勉強会
- 5 / 16 より 毎週水曜日
  - 5 / 19 より 毎週土曜日
  - 総合ケアセンターひまわり
  - 特別養護老人ホーム 瑞雲荘
- 問い合わせ先 0978-52-2233 (宮尾)

**集 積 記**  
昨夜21時頃、妹から久しぶりの電話が鳴り、珍しいなと思いついて出てみると、酷く慌てている様子。聞くと、母親が病院に緊急搬送されたとの事。慌てて病院に行くと、まだ救急車は到着しておらず、妹と救急車を待つこと3分。やっと救急車が到着し、救急車から母の姿が見えるのを待ち構えていると知らないお年寄りで、「えう、母ちゃん急に老けたの?」と思いつくと赤の他人でした。(恥) そんなこんなで内にもう一台の救急車が到着。今度こそ母親でした。普段人一倍元気な母がストレッチャーに乗せられ青白い顔をしているのを見て、動揺しましたが、しっかりと私の声かけに答える母に少し安心しました。その後、待合室で私、妹、父の3人で母の無事を祈っていました。30分後元気に歩いて母は我々の前に姿を現し「石につまずいてこけて、額を割ったんよ!、丁度そこにお医者さんが通るかかって救急車を呼んだんよ、石(イシ)につまずいて医師(イシ)に助けられたって話やわ!」と元気に駄洒落を披露してくれました。おしつこしかぶるんじゃないかと思うくらい安堵感に包まれました。それと同時に久しぶりに高尾家4人だけで集まり、母の駄洒落に笑っている家族の姿に、自分ばかりが年を重ねているんじゃないかと同じように両親も年を重ねているんだと実感しました。20年くらい前は確実にあった4人の暮らし。毎朝「おはよう」と挨拶を交わし、一緒に食卓を囲み、「おやすみ」を言って眠る生活は帰ってこないのだと知らされました。年を取り、何かを得る代わりに色んなものを失っている。普段我がが接しているお年寄りも、只、老いている訳でなく色んなものを得て、色んなものを失い、今があり、もちろん誰かの子であり、親であり、夫であり、妻であるのだと再度気付かされました。お年寄りが人生の晩年をより豊かに生活できるように頑張ろうと奮い立った夜でした。

高尾

毎月二〇日発行 編集責任者 社会福祉法人ひまわり 高尾毅



瑞雲荘ショートステイご利用中の山崎サカエ様が5/9で100歳を迎え、福寿のお祝いに八坂恭介杵築市長も来荘されました。

市長より記念品と感謝状を渡された山崎様は、「ありがとうございます。感謝しております。」と感謝の意を述べておられました。山崎様いつまでもお元気に長生きしてください。

## 祝 福 寿

### 瑞 雲 荘



## 三楽園デイサービス

### 手芸作品紹介

今月も、利用者様が手芸に熱心に取り組み木目込みや匂い袋に風車等、素晴らしい作品が完成しましたので紹介いたします。その他にも三楽園で使用するマクラカバいや、雑巾も作っていただきました。ありがとうございました。

## 鯉のぼりドライブ

今年も新緑が綺麗な季節が到来し、三楽園では恒例の鯉のぼりドライブに国東町の行入ダムに出掛けました。

300匹もの色とりどりの鯉のぼりが雄大な自然の中で爽やかな風を受け、気持ちよさそうに泳いでいる姿は壮大でした。

利用者様も晴れ晴れとした表情でその姿を眺められていました。

また、道中も新緑眩しい景色を楽しまれたりと、良い気分転換になったようです。

5/9に5月生まれの瑞雲荘利用者様の誕生日会を開催し、出し物としてストッキング相撲を行いました。

ストッキングを顔に被り引っ張り合い、ストッキングが取れた力士が負けというこの相撲。変形した職員顔を見て利用者様は大変喜ばれていました。

## 誕 生 日 会

5月10日に瑞雲荘利用者様は豊後高田市のショッピングセンターまで買い物に出掛けお菓子や、衣類を真剣に選んでおられました。「これ似合うかえく？」「派手じゃなからうか？」等、やはり女性利用者の方はファッションにはうるさいようです。また、お菓子売り場でもやはり女性利用者様の方が買い物上手で、おもしろいお菓子をチョイスされていました。

## シ ョ ッ ピ ン グ



利用者様感想  
三浦 敦子様  
天気も良く、新緑も綺麗で、楽しいドライブ日和でした。身も心も晴れ晴れと、鯉が泳ぐ姿も最高でした。



女性利用者様に、日頃の感謝の気持ちを込め、ささやかですが、プレゼントをご用意しました。いつもありがとうございます。

うららかな日差しの下、ゴールデンウィークに宇佐の「千財農園」に藤見学へでかけました。

遠めに見る藤も綺麗なのですが、藤棚の下を歩き下から見上げる藤はまた格別でした。利用者様には大変喜んでいただきました。

## 藤 見 学

きつきの里デイサービスでは熊本の郷土菓子「いきなり団子」を利用者様と職員で手作りしました。

蒸しあがった団子は大変美味しく、団子を残される方はいませんでした。

また、作りたいたいと思います。



## きつきの里デイサービス

## お や つ 作 り



瑞雲荘利用者のご家族よりポータブルトイレと車椅子を寄付していただきました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

## 絵 手 紙 紹 介

三楽園ご利用者西村 重子様作品

## 『 蘭 』

